

平成 29 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 みらかホールディングス株式会社  
代表者名 代表執行役社長 竹内成和  
コード番号 4 5 4 4 東証第 1 部  
問合せ先 執行役 兼 CFO 北村直樹  
電話番号 0 3 - 5 9 0 9 - 3 3 3 7

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 10 月 13 日に公表しました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の連結業績予想を修正しますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純損益 (百万円)	1 株当たり 当期純損益
前回発表予想 (A)	204,500	27,800	25,500	3,000	52.63 円
今回修正予想 (B)	204,200	28,000	26,300	300	5.26 円
増減額 (B - A)	△300	200	800	△2,700	
増減率 ( % )	△0.1	0.7	3.1	△90.0	
(参考) 前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	211,743	26,050	23,782	△5,081	△89.21 円

※前回発表予想は平成 28 年 10 月 13 日に開示しております。

2. 修正の理由

当社の受託臨床検査事業の米国子会社である Miraca Life Sciences, Inc. (米国、テキサス、以下「MLS」) においては、(1) 大手民間保険会社との既存契約の解釈の相違が顕在化したことによる平成 29 年以降の償還条件の悪化、および (2) 大手民間保険会社との一部の既存契約の平成 29 年以降の契約解除により、今後の中期計画の見直しが必要となりました。この修正中期計画に基づき減損テストを実施した結果、当第 4 四半期において MLS に係るのれんを減損処理することとなり、日本基準として約 33 億円を特別損失として計上いたします。

さらに、上記 (1) の当該保険会社との解釈の相違に該当する平成 28 年度の売掛債権の放棄 US\$8.7 百万 (約 9 億円)、および MLS において自社開発を進めておりましたラボ IT システムの開発プロジェクトの中止を決定したことによる除却損 US\$11.3 百万 (約 12 億円) を特別損失として計上いたします。

一方、当社の臨床検査薬事業の米国子会社である Fujirebio Diagnostics, Inc. におきましては、訴訟損

失引当金繰入額を当第1四半期に特別損失として計上しておりましたが、その後の相手方との交渉により当該訴訟が和解に至りましたため、和解による確定金額と引当金繰入額との差額 US\$23.4 百万（約 25 億円）を取り崩しいたします。

上記の結果、前回予想に対して親会社株主に帰属する当期純利益が 27 億円悪化することにより、連結業績予想を修正いたします。

以 上